

沿 革

	稚 内 市	豊 富 町	猿 払 村
明治時代	<p>23年4月 私設消防組設置 組頭以下35名 腕用ポンプ1台</p> <p>27年4月 公立宗谷照合組設置 組頭以下105名 腕用ポンプ1台 2部制</p> <p>34年5月 町制施行 宗谷消防組を稚内消防組と改称する</p> <p>39年2月 声問一部設置 3部制 組頭以下130名 腕用ポンプ3台</p> <p>44年5月 稚内町大火 山火より延焼 752戸焼失</p>		末期 猿払消防組設置 (浜猿払)
大正時代	<p>9年1月 抜海一部設置 4部制 組頭以下155名 腕用ポンプ4台</p> <p>12年4月 クサンルー一部設置 5部制 組頭以下199名 腕用ポンプ5台 声問・抜海分離 部落冠称 町内3部制</p> <p>12年5月 沼川私設消防組設置 鈴木式ガソリンポンプ 1台配置</p> <p>14年5月 ガソリンポンプ1台配置</p>	<p>14年10月 豊富私設消防組設置 腕用ポンプ1台配置</p>	<p>4年1月 知来別消防組設置</p> <p>5年 猿払消防組 腕用ポンプ1台</p> <p>8年 知来別消防組 腕用ポンプ1台</p> <p>8年10月 浅茅野・浜鬼志別消防組設置</p> <p>10年7月 知来別大火 戸数不明</p> <p>11年6月 鬼志別消防組設置 腕用ポンプ1台</p> <p>13年1月 消防組設置 3部制 組頭以下92名 腕用ポンプ3台</p>
昭和時代	<p>3年8月 消防ポンプ自動車(ダッチ)1台配置 機関係1名常備 貯水槽(54m)6基 地下式消火栓21基</p> <p>3年10月 稚内町大火 681戸焼失 死者2名</p> <p>5年11月 稚内町大火 216戸焼失</p> <p>6年4月 常備消防部庁舎新築 木造2階建延べ197㎡ ポンプ自動車(レオ)1台配置</p> <p>14年3月 1日午後11時 勇知原野11線 農業 吉原達雄方煙突部より出火 全焼 主人(48)妻(43)長女(21)長男(18) 次男(12)三女(9)三男(7)四女(4) の8人及び牛馬各1頭羊8頭豚 2頭は何れも焼死</p> <p>14年4月 勅令警防団令公布消防組廃止 稚内警防団発足 9ヶ分団 団長以下470名 常備員14名ポンプ自動車3台 ガソリンポンプ3台 腕用ポンプ8台 貯水槽39ヶ所</p>	<p>元年頃 兜沼私設自警団設立</p> <p>4年5月 自警団消防組に組織改組</p> <p>6年5月 豊富・兜沼公設消防組に昇格</p> <p>13年8月 公認日曹消防組設立 腕用ポンプ3台</p> <p>14年4月 消防組幌延村警防団と改編 幌延村に団本部設置 3分団(豊富) 4分団(兜沼) 5分団(日曹)となる</p>	<p>3年8月 4部制 組頭以下122名 ガソリンポンプ2台</p> <p>9年4月 5部制 組頭以下180名 ポンプ自動車1台配置</p> <p>14年4月 警防団と改称 5ヶ分団 団長以下220名</p>

	稚 内 市	豊 富 町	猿 払 村
昭 和 時 代	19年 2月 日本警防協会会長より 火災現場功労表彰旗授与	15年 幌延村より分村 15年 8月 豊富警防団と称する	14年 12月 ソ連貨物船「インディギルガ号」 (4,000 t)暴風雪で浜鬼志別沖 合いのトド島付近で座礁転覆 死者 700 余名 村長の指揮下 警防団員全員が遺体の収容収 集並びに茶毘に付し長期 3 ケ 月余に亘るボランティア活動
	20年 8月 終戦	22年 1月 日曹消防団タービンポンプ配置	21年 6月 林野火災 2,648ha 焼失
	22年 6月 林野火災 843ha 焼失	22年 10月 豊富地区貯水槽設置	22年 8月 消防組織法により猿払村消防団 組織改正 団長 1名 副団長 2名にて消防 団本部編成 8ヶ分団 235名 ガソリンポンプ 1台 腕用ポンプ 9台
	22年 6月 林野火災 1,111ha 焼失	22年 12月 温泉で火災 旅館 2戸民家 3戸 計 5戸焼失	25年 6月 浜猿払市街大火 30戸全焼
	22年 10月 稚内炭鉱ダイナマイト娯 爆事故 死者 15名	22年 12月 警防団消防団と改称 豊富消防団一豊富1分団・兜沼消 防団一兜沼分団・目梨分団 日曹 消防団	27年 5月 林野火災 793ha 焼失
	23年 3月 消防組織法施行	25年 3月 温泉で火災 旅館1戸 食堂1戸 民 家 2戸 計 4戸焼失	27年 5月 林野火災 528ha 焼失
	23年 4月 稚内町消防団設置 常備員 25名	25年 3月 豊富村 3消防団装備ガソリンポン プ 5台 腕用ポンプ 5台	29年 8月 ポンプ自動車 3台 小型動力ポンプ 5台 ガソリンポンプ 1台 腕用ポンプ 9台
	23年 5月 林野火災 1,681 ha 焼失	25年 4月 温泉 2分団発足 ガソリンポンプ 1台	30年 4月 分団機械整備により消防団条 例一部改正 定員 163名
	24年 4月 市制施行 消防本部 消防署設置 人員 26名 ポンプ自動車 6台消 防団 9ヶ分団 団長以下 420名	27年 5月 豊富地区ポンプ車配置	31年 6月 鬼志別文化劇場火災 8棟 7戸全焼
	25年 4月 水槽付ポンプ車配置「流星」	27年 9月 兜沼地区小型動力ポンプ配置	35年 8月 知来別市街火災 7棟焼失
	27年 5月 林野火災 734 ha 焼失	28年 5月 日本消防協会会長より 5名の日曹消 防団員が水害救助で現場功労賞 授与	38年 5月 鬼志別自衛隊演習地火災 1,501ha 焼失 豊里開拓地火 災 4戸全焼 1戸半焼 836ha 焼失
	30年 3月 宗谷村稚内市に合併 消防団 13ヶ分団	28年 8月 日曹地区ポンプ車配置	44年 5月 浜猿払市街火災 3棟 673 m <sup>2</sup> 全焼
	35年 3月 水槽付ポンプ車配置「彗星」	29年 4月 豊富消防団本部庁舎新築	46年 5月 鬼志別市街火災 1棟 408 m <sup>2</sup> 全焼
	35年 6月 宝来 3丁目水産加工場火災 渋田消防司令補 殉職 消防葬挙行	32年 5月 兜沼地区屋外消火栓設置	
	36年 5月 港 4丁目消防本部・署庁舎新築 ブロック 2階建 593 m <sup>2</sup>	32年 11月 日曹消防団本部庁舎新築	
	37年 10月 宝来 1丁目北分遣所設置	33年 9月 豊富地区屋外消火栓設置	
	39年 7月 消防創設 70周年 自治体消防創 設 15周年記念式典挙行	33年 12月 兜沼消防団本部庁舎新築	
	40年 10月 稚内公園稚内壺苑内に消防殉職 功労者慰霊碑建立	34年 1月 町制施行	
	41年 6月 消防団本部庁舎新築 (中央 4) ブロック 3階建 336 m <sup>2</sup>	35年 10月 日本消防協会会長より竿頭授与	
	42年 9月 政令指定による救急業務開始	36年 5月 林野火災 893ha 焼失	
	42年 11月 北海道知事により消防団竿頭授 与	36年 9月 温泉地区屋外消火栓設置	
	42年 11月 消防ポンプ自動車寄贈配置 「ライオンズ号」	42年 8月 北海道消防協会会長より表彰旗授与	
	42年 12月 消防専用無線電話開設	42年 10月 3消防団を豊富消防団と組織替え 団員 156名 豊富分団 兜沼分団 温泉分団 日 曹分団	
	44年 6月 第 21回 北海道消防大会開催 参加人員 1,950名 屈折梯子車配置(15m級)「昇竜」 救急車配置	45年 3月 日曹小中学校火災 1,886 m <sup>2</sup> 全焼	
	45年 11月 雪上車配置		
	46年 2月 日本消防協会会長より消防団表彰 旗授与		

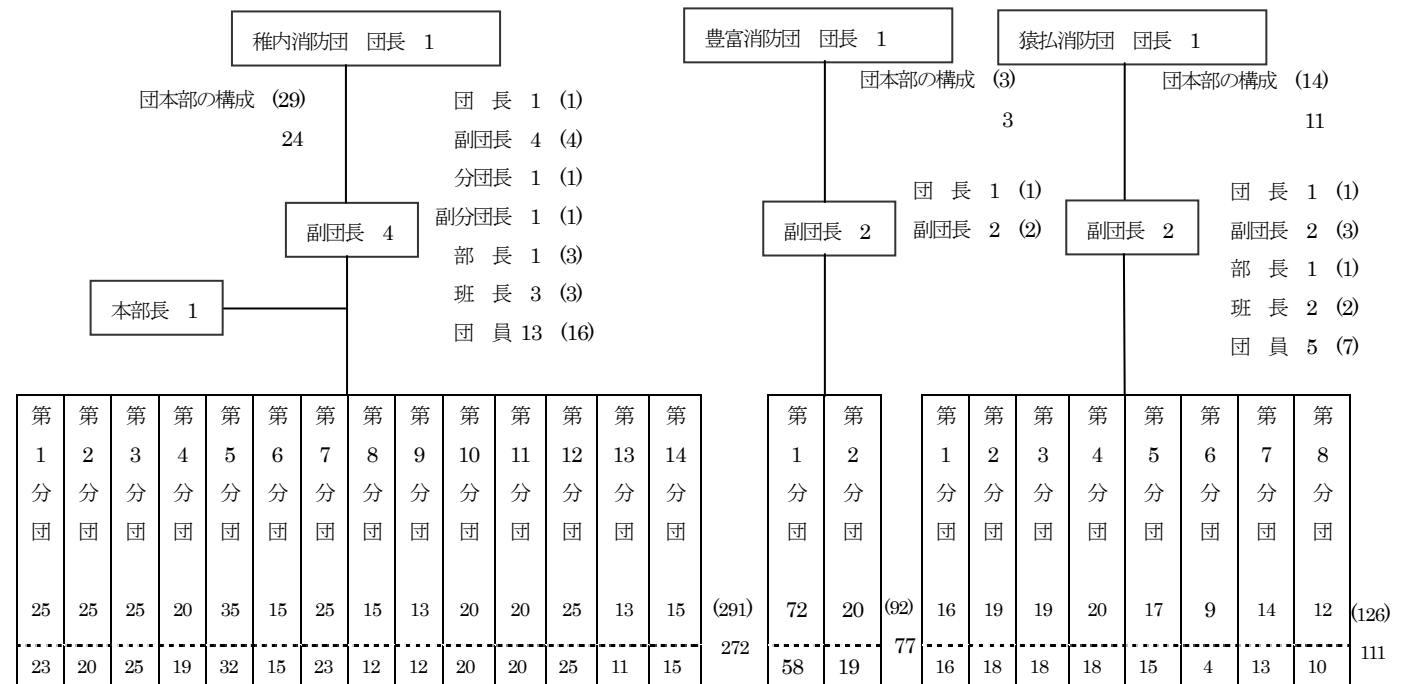
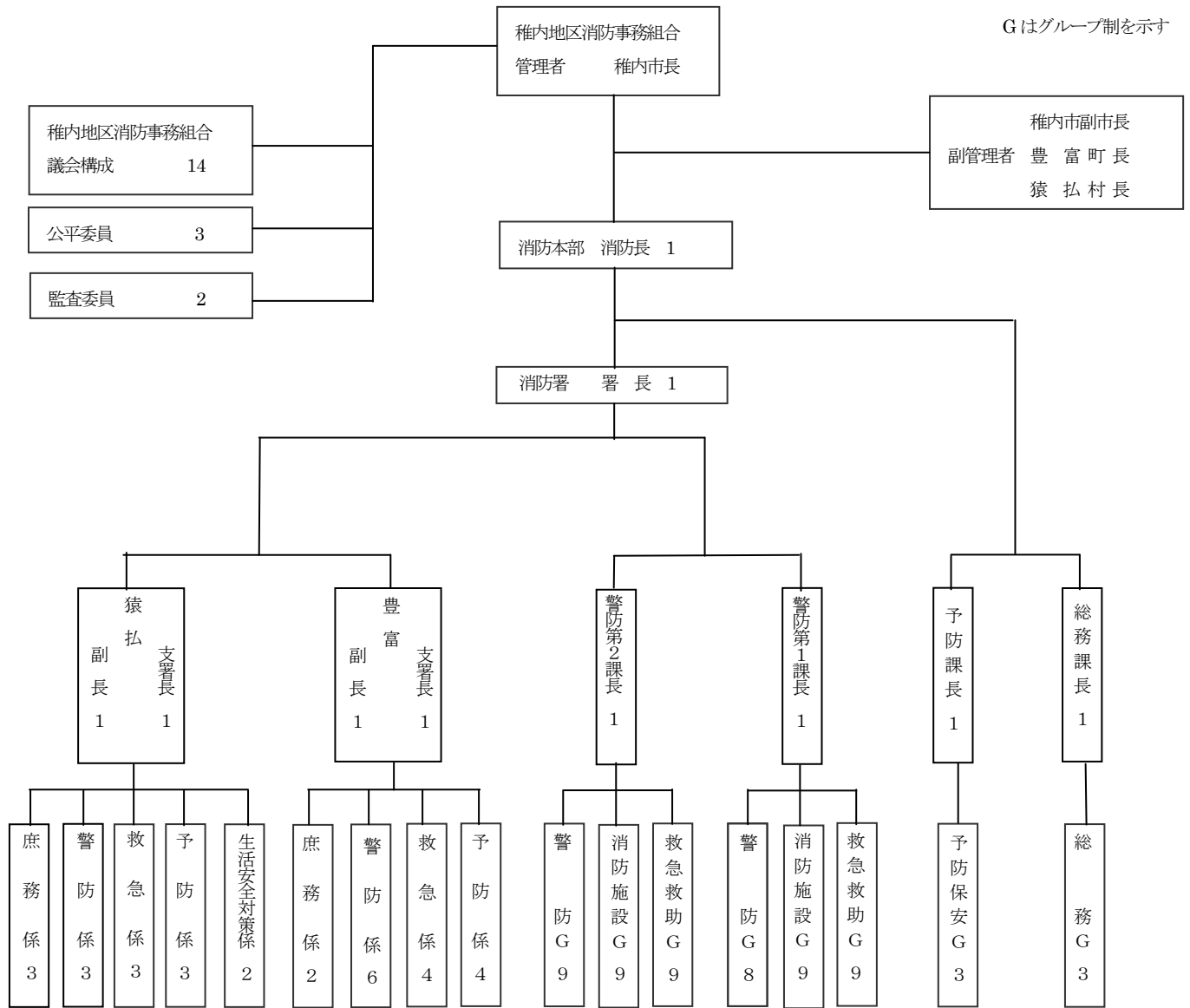
	稚 内 市	豊 富 町	猿 払 村
昭 和 時 代	46年5月 市ごみ捨場より飛び火出火 林野火災発生3日間延焼 269.8ha 焼失		
	46年10月 化学車配置「双竜号」		
	47年3月 港5丁目消防本部・署庁舎新築 鉄筋コンクリート3階建て 946.59㎡	47年7月 日曹分団炭鉱閉山により廃止	
	47年12月 暴風雪により高圧鉄塔多数倒壊 送電線無数切断 5日間全市停電 ロウソク火に よる火災続発（発生4件 焼死 者1名）		
	48年3月 消防庁長官より竿頭授与	48年4月 消防署豊富支署設置	48年4月 消防署猿払支署設置
	48年4月 稚内地区消防事務組合発足 （稚内市・豊富町・猿払村）	48年5月 支署庁舎新築2階建鉄筋ブロッ ク323㎡	48年5月 鬼志別建物火災 住宅及び車庫 4棟671㎡全焼
	49年3月 恵比須2丁目北出張所新築 鉄筋 ブロック2階建128.25㎡	49年3月 マイクロ2B型救急車配置	48年11月 支署庁舎新築2階建鉄筋ブロッ ク289.18㎡
	50年2月 3B型救急車寄贈配置(損保協会)	49年6月 救急業務政令指定	
	51年3月 一斉指令装置開設		
	53年9月 自治体消防30周年組合 消防5 周年記念合同訓練大会 消防タンク車寄贈配置 (損保協会)「百竜号」	52年8月 消防指令車寄贈配置 (前田氏)	49年6月 救急業務政令指定 49年7月 消防団北海道消防協会長より竿 頭授与
	53年12月 本部 車庫増築132.75㎡	52年10月 消防専用無線電話開設	50年1月 無火災記録487日でストップ 51年7月 猿払地区原野火災発 1,120ha 焼失
	54年6月 3B型救急車寄贈配置 (稚内ライオンズクラブ)	54年5月 目梨別国有林火災29ha 焼失 (ヘリコプターによる空中散布)	53年5月 小石地区林野火災発生 国有林400a 焼失 (ヘリコプターによる空中散布)
	56年9月 消防ポンプ自動車配置「銀竜号」	54年11月 温泉地区建物火災(元湯館) 半焼 940㎡焼失	54年1月 狩別地区建物火災発生 牛舎全焼乳牛15頭焼死
	57年8月 消防本部指揮車配置 (稚内ライオンズクラブ)		55年9月 消防専用無線電話開設 57年4月 消防指令車配置
	57年10月 救助工作車配置 (電源照明付「飛竜号」)		58年6月 消防団北海道消防協会より 表彰旗授与
	59年10月 三節屈折梯子車配置 (25m級「宝竜号」)	59年1月 2B型救急車寄贈配置 (損保協会)	58年9月 大韓航空機墜落事件に伴う漂着 物捜索(オホーツク海岸一帯)
	61年10月 消防水槽車配置 (水10,000ℓ「大竜号」)	60年10月 消防水槽車配置(水10,000ℓ)	59年1月 芦野地区建物火災発生牛舎全焼 搾乳牛47頭焼死 昭和55年1月29日以来無火 災記録1,145日でストップ
	62年6月 連絡車配置	60年11月 車庫増築96.2㎡	59年10月 消防水槽車配置 (水10,000ℓ「巨龍」)
	62年7月 3B型救急車配置	62年10月 消防タンク車配置	60年11月 無火災記録540日でストップ
	63年5月 広報車配置	63年6月 指令車寄贈配置(豊富町建設協会)	
	63年9月 消防タンク車寄贈配置 (損保協会「金竜号」)	63年8月 小形動力ポンプ積載車配置	63年11月 2B型救急車寄贈配置 (北海道共済連)
	63年9月 2B型救急車寄贈配置 (日本消防協会)		

	稚 内 市	豊 富 町	猿 払 村
平成時代	元年 6月 訓練塔新設 (鉄管組立構造)		
	元年 6月 第41回北海道消防大会 開催 参加人員 3,300名		
	元年 10月 救急医療システム端末機設置	元年 10月 酪農地域消火栓設置 30基	
	元年 11月 指令車寄贈配置 (財団法人日本防火協会)		元年 11月 消防タンク車配置(水 3,000ℓ)
	2年 3月 消防庁長官より表彰旗授与 (消防本部 稚内消防団)	2年 8月 小型動力ポンプ付積載車配置	2年 10月 第8分団小型動力ポンプ付積載車配置
	2年 3月 消防緊急情報システム設備開設	2年 12月 酪農地域消火栓設置 30基	
	3年 2月 化学消防ポンプ車配置 (高圧ポンプ付「双竜号」)		3年 5月 自衛隊演習場内野火発生 600ha 焼失
	3年 9月 北海道防災総合訓練 末広5丁目臨海工業団地 参加機関15機関参加人員640名		3年 5月 庁舎内部一部改修
	4年 7月 消防本部指揮車配置 (稚内ライオンズクラブ一部寄贈)	4年 8月 小型動力ポンプ付積載車及び小型 動力ポンプ配置	3年 12月 第4分団・第7分団詰所 改築 81㎡
	4年 10月 女性消防団結成	4年 12月 酪農地域消火栓設置 15基	4年 7月 北海道消防操法訓練大会小型ポ ンプの部に第1分団出場
	5年 3月 水槽付消防ポンプ自動車配置 「さくら号」 (防衛庁補助事業 水 4,000ℓ)	5年 3月 サイレン吹鳴装置設置 (温泉・兜沼地区)	
	6年 2月 消防ポンプ自動車配置「北斗号」 (消防防災設備整備費補助事業)	5年 5月 人員搬送車配置 9人乗り (山谷佐栄次氏 一部寄贈)	
	6年 11月 第3分団庁舎新築 146.10㎡ 第14分団庁舎新築 34.02㎡	5年 12月 酪農地域消火栓設置 15基	6年 3月 消防ポンプ自動車配置「鬼竜」 (防衛施設周辺民生安定施設整備事業)
	6年 12月 梯子付消防自動車配置 (40m級「天翔」) 第11分団庁舎新築 80.19㎡	6年 3月 サイレン吹鳴遠隔装置設置 (1町内・5町内)	6年 5月 狩別林野火災
	8年 3月 消防本部広報車配置	6年 11月 2B型救急車寄贈配置 (北海道共済連)	6年 7月 宗谷管内水防訓練 (猿払川新富士見町)
	8年 8月 救助隊潜水班運用開始	6年 12月 酪農地域消火栓設置 15基	6年 9月 第2分団サイレン塔改築
	8年 11月 抜海地区で火災発生 8棟 1,249㎡焼失	7年 3月 サイレン吹鳴遠隔装置設置 (3町内・4町内・稚咲内)	7年 9月 第6分団サイレン塔新築 コンクリート制 13m
	8年 12月 高規格救急車配置	7年 7月 女性消防団結成 (10名)	7年 10月 第6分団資機材車配置
		7年 12月 酪農地域消火栓設置 20基	8年 2月 第6分団庁舎新築 55.71㎡
		8年 3月 サイレン吹鳴装置設置 (1町内・5町内)	8年 10月 女性消防団結成(10名)
		8年 7月 北海道消防操法大会に (小型ポン プ) 第1分団出場	
		8年 7月 消火栓設置 (4町内)	
		9年 5月 庁舎事務室拡張工事(28㎡)	9年 12月 支署庁舎新築 鉄骨コンクリート 2階建 1,417.43
	9年 10月 梯子自動車配置(15m級)	10年 10月 消防緊急通信指令装置	
10年 5月 声間サラキトマナイ地区林野火 災発生 1,000a 焼失	9年 12月 防火水槽設置 (1町内 2基 4町内 1基)	10年 12月 第5分団庁舎新築 67.5㎡	
10年 11月 消防コミュニティ庁舎改築 鉄骨鉄筋コンクリート地下1階 地上2階建 2,980.90㎡ 消防緊急通信指令システム 訓練塔・地下1階地上7階 (潜水訓練用水槽 深さ8m)	10年 11月 救助工作車配置(損保協会寄贈)	10年 12月 高規格救急車配置	
10年 12月 水難用ボート・資機材車配置	10年 11月 消火栓設置(1町内 1基)		
	10年 12月 防火水槽設置 (3町内 2基 5町内 1基)		
	11年 10月 消火栓設置(5町内 1基)	11年 8月 消火栓設置(浅茅野台地他 4基) 防火水槽設置 (地来別 1基)	
	11年 11月 防火水槽設置 (1町内 1基 5町内 1基)		

	稚 内 市	豊 富 町	猿 払 村
平成時代	12年6月 救助工作車配置 (電源照明付「飛龍」)	12年2月 防火水槽移設設置 (2町内1基)	12年10月 消火栓設置 (浅茅野他10基)
	12年10月 第13分団庁舎改築 97.2㎡	12年6月 指令車配置	
	13年7月 恵比須2 北出張所廃止	12年12月 消火栓設置 (5町内1基)	13年3月 防火水槽設置 (鬼志別3基)
	14年6月 稚内市中央2地区大火 31棟焼失 焼失面積 8,845㎡	13年10月 消防ポンプ自動車配置 (CDII型)	13年10月 消火栓設置 (浅茅野台地2基・狩別1基)
	15年12月 消防ポンプ自動車配置「銀竜号」	14年11月 消火栓設置 (5町内1基)	15年10月 2B型救急車寄贈配置 (北海道共済連)
	17年8月 北海道防災総合訓練 未広4丁目天北第2埠頭 参加機関 24 機関 参加人員 1,200名	15年11月 消火栓設置 (5町内1基)	16年8月 消火栓設置 (鬼志別2基)
	17年10月 2B型救急車寄贈配置 (全国共済連)	16年3月 消防ポンプ自動車配置 (CDI型)	17年8月 消火栓設置 (鬼志別1基・浜鬼志別1基)
	18年11月 オホーツク海沿岸地域津波警報 発令 東浦・宗谷岬地区住民 183 世帯 623 人に避難指示声問～ 珊内・ノシャツプ～坂ノ下地区 住民 829 世帯 1,998 人に避 難勧告発令、被害なし	16年12月 高規格救急車配置	18年5月 浅茅野台地林野火災 1,434a 焼 失
	19年1月 オホーツク海沿岸地域津波警報 発令 避難勧告発令 東浦地区 住民 7 世帯 23 人・宗谷地区住 民 45 人・車両 100 台避難 被 害なし	17年8月 消火栓設置 (4町内1基)	18年8月 消火栓設置 (知来別1基・浜鬼志別1基)
		18年12月 支署事務所増築 鉄骨コンクリート造り 2階建 422.1㎡	18年9月 豊里地区(1024林班)行方不明 者捜索活動展開
			18年11月 オホーツク海沿岸地域津波警報 発令 知来別・浜鬼志別・芦 野・浜猿払地区住民 374 世帯 1,125 人に避難指示発令、被害 なし
			19年1月 オホーツク海沿岸地域津波警報 発令 知来別・浜鬼志別・芦 野・浜猿払地区住民 377 世帯 1,141 人に避難指示発令、被害 なし
			19年7月 浜猿払草地火災 549a 焼失
	21年8月 40m はしご車オーバーホール	20年4月 第1分団第2分団統合 2分団制 とする	19年7月 消火栓設置 (浜猿払・浅茅野台 地各1基)
		20年7月 北海道消防操法大会に(小型ポン プ)第1分団出場	20年8月 消火栓設置 (浜猿払村・浜鬼志 別各1基)
		20年10月 消火栓取替設置 (22基)	
	21年7月 消火栓設置 (5町内1基) 消火栓取替設置 (19基)		
	21年11月 第2分団庁舎改築		

組織系統図

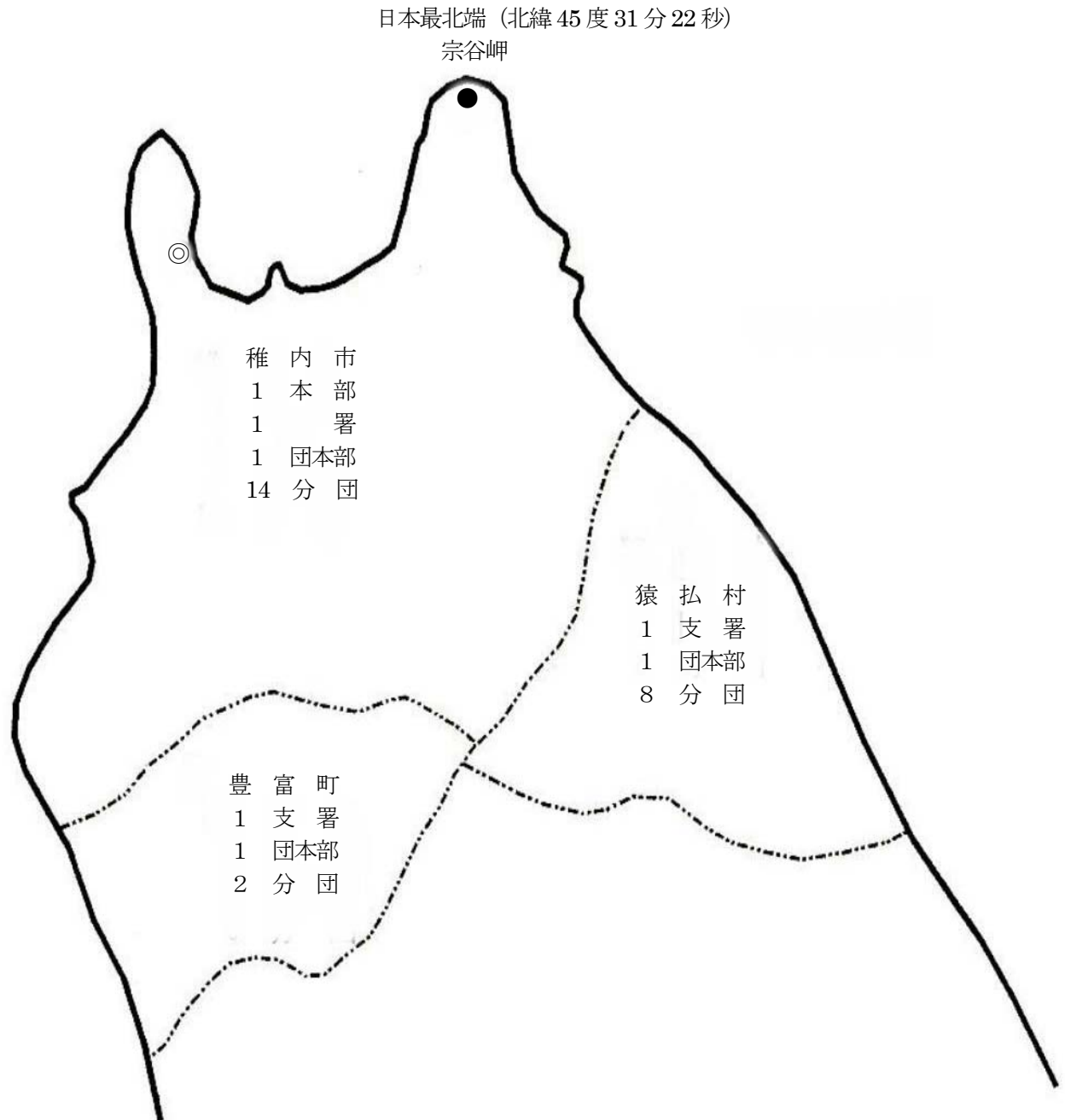
Gはグループ制を示す



## 人 口 と 面 積

区 分	人 口	世 帯 数	面 積
稚 内 市	39,230 人	18,950 世帯	797.36 Km <sup>2</sup>
豊 富 町	4,538 人	2,026 世帯	520.67 Km <sup>2</sup>
猿 払 村	2,823 人	1,135 世帯	590.00 Km <sup>2</sup>
計	46,591 人	22,086 世帯	1,908.03 Km <sup>2</sup>

## 消 防 配 置



平成 21 年度 一般会計予算

(歳 入)

単位：千円

款	稚内市 (本部・署)	豊富町 (支署)	猿払村 (支署)	計
分担金及負担金	661,693	171,495	177,736	1,010,924
使用料及手数料	1,220	0	0	1,220
繰越金	1	0	0	1
諸収入	351	0	0	351
合計	663,265	171,495	177,736	1,012,496

(歳 出)

単位：千円

款	稚内市 (本部・署)	豊富町 (支署)	猿払村 (支署)	計
議会費	1,925	372	270	2,567
総務費	65,913	12,743	9,227	87,883
消防費	535,726	158,351	155,649	849,726
公債費	59,551	0	12,569	72,120
予備費	150	29	21	200
合計	663,265	171,495	177,736	1,012,496



住 民 と 消 防 比 較

			住民1人当り	住民1世帯当り
消防費	事務組合	849,726 千円	18,238 円	35,508 円
	稚内市	535,726 千円	13,656 円	28,338 円
	豊富町	158,351 千円	34,894 円	78,159 円
	猿払村	155,649 千円	55,136 円	137,136 円
消防職員 1名に対し		面積	住 民	世 帯
	事務組合 99名	18.90 k m <sup>2</sup>	471名	223世帯
	稚内市 65名	11.70 k m <sup>2</sup>	604名	291世帯
	豊富町 18名	28.93 k m <sup>2</sup>	252名	113世帯
	猿払村 16名	36.88 k m <sup>2</sup>	176名	71世帯
消防団員 1名に対し		面積	住 民	世 帯
	事務組合 498名	3.76 k m <sup>2</sup>	94名	44世帯
	稚内市 296名	2.57 k m <sup>2</sup>	133名	64世帯
	豊富町 80名	6.51 k m <sup>2</sup>	57名	25世帯
	猿払村 122名	4.84 k m <sup>2</sup>	23名	9世帯
消防ポンプ 自動車 1台に対し		面積	住 民	世 帯
	事務組合 10台	187.15 k m <sup>2</sup>	4,659名	2,027世帯
	稚内市 4台	190.20 k m <sup>2</sup>	9,808名	4,726世帯
	豊富町 4台	130.17 k m <sup>2</sup>	1,135名	507世帯
	猿払村 2台	295.00 k m <sup>2</sup>	1,412名	568世帯

◎ 稚内市

消防長

歴 代 役 員

※

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	森 円次郎	昭 和 24 年 4 月	7 代	川森 弘	平 成 元 年 4 月
2 代	前田 義範	昭 和 41 年 11 月	8 代	岩渕 穰	平 成 3 年 8 月
組合初代	石岡 一男	昭 和 48 年 4 月 (事務取扱)	9 代	高野 徳七	平 成 7 年 1 月
			10 代	為安 興一	平 成 9 年 4 月
2 代	山口 登志逸	昭 和 48 年 5 月	11 代	小澤 諭	平 成 11 年 4 月
3 代	松村 幸太郎	昭 和 53 年 5 月	12 代	石川 勝	平 成 14 年 4 月
4 代	矢口 一寿	昭 和 55 年 4 月	13 代	雄谷 林雄	平 成 16 年 4 月
5 代	葛西 孝	昭 和 56 年 4 月	14 代	福田 眞史	平 成 19 年 5 月
6 代	三関 正義	昭 和 60 年 4 月	15 代	藤原 幸男	平 成 22 年 4 月

消防署長

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	櫻田 六郎	昭 和 24 年 9 月	5 代	谷口 勇	昭 和 58 年 7 月
2 代	門間 喜市	昭 和 42 年 4 月	6 代	日下 留蔵	昭 和 63 年 4 月
3 代	鈴木 保祐	昭 和 44 年 4 月	7 代	高野 徳七	平 成 6 年 4 月
4 代	福田 隆己	昭 和 46 年 4 月	8 代	橋本 務	平 成 7 年 1 月
5 代 組合初代	泉 次郎	昭 和 47 年 10 月	9 代	小沢 諭	平 成 9 年 4 月
		昭 和 48 年 4 月	10 代	高橋 勝	平 成 11 年 4 月
2 代	山口 忠雄	昭 和 51 年 3 月	11 代	飯田 繁樹	平 成 14 年 4 月
3 代	成田 孟司	昭 和 52 年 7 月	12 代	藤原 幸男	平 成 21 年 4 月
4 代	山口 勝見	昭 和 57 年 4 月	13 代	薄田 嘉継	平 成 22 年 4 月

組 頭

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	鈴木 留吉	明 治 23 年 4 月	6 代	松本 徳太郎	大 正 7 年 月
2 代	山本 竹次郎	明 治 27 年 4 月	7 代	矢田 栄太郎	大 正 8 年 月
3 代	飯田 吉次郎	明 治 32 年 月	8 代	井上 時次郎	大 正 14 年 2 月
4 代	永田 和吉	明 治 41 年 月	9 代	田渕 太七	昭 和 5 年 3 月
5 代	若林 和吉	大 正 6 年 月	10 代	中沢 浩一郎	昭 和 10 年 3 月

警防団長

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	中沢 浩一郎	昭 和 14 年 4 月	2 代	森 円次郎	昭 和 20 年 10 月

消防団長

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	森 円次郎	昭 和 23 年 4 月	4 代	山本 寿夫	昭 和 56 年 6 月
2 代	前田 義範	昭 和 29 年 1 月	5 代	出村 勝信	昭 和 59 年 5 月
3 代	菅野 栄二	昭 和 41 年 11 月	6 代	岡田 清	平 成 3 年 7 月
組合初代	前田 義範	昭 和 48 年 4 月	7 代	松岡 勇	平 成 9 年 9 月
2 代	菅野 栄二	昭 和 51 年 4 月	8 代	伊戸川 久	平 成 17 年 4 月
3 代	森 外喜雄	昭 和 54 年 4 月	9 代	能任 清志	平 成 20 年 4 月

◎ 豊富町

消防長

歴 代 役 員

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	相馬 惣三郎	昭和 22 年 12 月	3 代	谷内 芳則	昭和 30 年 10 月
2 代	林 彦次郎	昭和 27 年 5 月	4 代	徳野 保	昭和 34 年 9 月

組 頭

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
豊 富	渡辺 清吾	大正 14 年 10 月	日 曹	小畑 常三郎	昭和 13 年 8 月
兜 沼	鈴木 広吉	昭和 4 年 5 月			

警防団長

豊 富

兜 沼

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	広田 宇平	昭和 14 年 4 月	初 代	桶川 駒吉	昭和 14 年 4 月
2 代	対馬 誠	昭和 16 年 8 月	2 代	阿部 健吉	昭和 22 年 8 月
3 代	渡辺 清吾	昭和 18 年 5 月	日 曹		
		昭和 22 年 12 月		氏 名	就 任 年 月 日
			初 代	藪内 正明	昭和 14 年 4 月
			2 代	藤田 安之丞	昭和 18 年 5 月
			3 代	宮崎 武年	昭和 21 年 9 月 昭和 22 年 12 月

消防団長

豊 富

兜 沼

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	石川 長三郎	昭和 22 年 12 月	初 代	松前 松男	昭和 22 年 12 月
2 代	赤松 鉄造	昭和 26 年 12 月	2 代	阿部 健吉	昭和 24 年 6 月
3 代	徳野 保	昭和 30 年 9 月	3 代	鈴木 宗一	昭和 32 年 12 月
4 代	古市 一雄	昭和 34 年 9 月			昭和 42 年 10 月
5 代 組合初代	佐々木 一郎	昭和 42 年 12 月 昭和 48 年 4 月	日 曹		
2 代	石川 茂敏	平成 2 年 4 月		氏 名	就 任 年 月 日
3 代	林 繁夫	平成 6 年 4 月	初 代	中井 清九郎	昭和 22 年 12 月
4 代	小川 茂雄	平成 12 年 10 月	2 代	佐々木 一郎	昭和 42 年 12 月
5 代	細川 正明	平成 13 年 4 月			
6 代	古市 紀光	平成 20 年 4 月			

警防団長

◎ 猿払村

組 頭 不明

	氏 名	就 任 年 月 日
初 代	林 清	昭和 14 年 4 月

消防団長

	氏 名	就 任 年 月 日		氏 名	就 任 年 月 日
初 代	塚越 峻	昭和 22 年 8 月	2 代	船木 武良	昭和 61 年 10 月
2 代	岩木 喜市	昭和 37 年 4 月	3 代	西口 誠一	平成 10 年 5 月
3 代 組合初代	河口 栄太郎	昭和 42 年 8 月	4 代	水口 孝一	平成 15 年 4 月
		昭和 48 年 4 月	5 代	長原 寅悦	平成 22 年 4 月

稚内市地区消防事務組合議会 歴代議長・副議長

議長	氏名	就任年月日	副議長	氏名	就任年月日
		遠藤 善見		昭和 48 年 4 月 2 日	
	森 武義	昭和 50 年 5 月 16 日		庄野 信雄	昭和 48 年 7 月 19 日
	長谷 俊司	昭和 54 年 5 月 15 日		中尾 武雄	昭和 50 年 5 月 16 日
	橋本 岩一	昭和 57 年 9 月 30 日		高谷 定雄	昭和 54 年 5 月 15 日
	矢木 護	昭和 58 年 5 月 19 日		打田 豊造	昭和 58 年 5 月 19 日
	杉本 鯉一	昭和 62 年 5 月 15 日		葛西 俊成	昭和 62 年 5 月 15 日
	太田 外政	平成 3 年 5 月 15 日		嘉納 直久	平成 3 年 5 月 15 日
	竹村 海一	平成 5 年 5 月 11 日		黒田 宏次	平成 7 年 6 月 2 日
	菅原 清治	平成 7 年 6 月 2 日		梶原 幸喜	平成 11 年 6 月 4 日
	山田 繁春	平成 11 年 6 月 4 日		打田 壽男	平成 15 年 6 月 4 日
	魚住 光信	平成 13 年 7 月 9 日		多々良 勝 平成 19 年 6 月 11 日 (現在)	
	藤谷 良幸	平成 15 年 6 月 4 日			
	田森 和文	平成 19 年 6 月 11 日			
	河合 武久	平成 21 年 7 月 14 日 (現在)			

消防職員定数・実数

※

区分	階級	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他の職員	計
	定員	階級別定数なし								
実数		1	1	8	24	40	15	10		99

消防団員定数・実数

区分	階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員		計
	定員		3	9	25	25	47	99	347	
実数		3	8	25	24	44	96	298		498

消防職員配置

区分	階級	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他の職員	計
	消防本部	消防長	1							
総務課				1	1	1	1			4
予防課				1	2	1				4
消防署	署長		1							1
	警防第1課			1	6	13	4	3		27
	警防第2課			1	6	13	4	4		28
支署	豊富支署			2	4	6	4	2		18
	猿払支署			2	5	6	2	1		16
計		1	1	8	24	40	15	10		99

消 防 職 員 年 令 別

階級 区分	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他 の職員	計
20才未満									
20才～25才未満							9		9
25才～30才未満					2	12	1		15
30才～35才未満				1	23	2			26
35才～40才未満				3	9				12
40才～45才未満				2	1				3
45才～50才未満				5	3				8
50才～55才未満				6	1				7
55才以上	1	1	8	7	1	1			19
計	1	1	8	24	40	15	10		99
平均年令(才ヶ月)	59.10	59.03	57.10	49.11	36.02	29.08	22.04		39.04

消 防 職 員 勤 続 年 数

階級 区分	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他 の職員	計
1年未満					1	1	3		4
1年以上5年未満	1		1	2			4		10
5年以上10年未満				1		14	3		17
10年以上15年未満				1	18				25
15年以上20年未満				6	18				17
20年以上25年未満				4	2				
25年以上30年未満					1				7
30年以上35年未満			2	4					5
35年以上40年未満			4	5					14
40年以上		1	1	1					1
計	1	1	8	24	40	15	10		99
平均勤続(年ヶ月)	2.08	40.10	31.12	24.12	15.11	8.01	3.01		17.03

消 防 団 員 配 置

区分		階級							計
		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
内 市	団 本 部 女 子 団	1	4	1	1		1		8
						1	2	13	16
	第1分団(市 内)			1	1	3	5	13	23
	第2分団(市 内)			1	1	3	5	10	20
	第3分団(市 内)			1	1	3	5	15	25
	第4分団(声 問)			1	1	2	4	11	19
	第5分団(沼 川)			1	1	3	6	21	32
	第6分団(抜 海)			1	1	1	2	10	15
	第7分団(勇 知)			1	1	3	5	13	23
	第8分団(西稚内)			1	1	1	2	7	12
	第9分団(曲 渚)			1	1	1	2	7	12
	第10分団(宗 谷)			1	1	2	4	12	20
	第11分団(富 磯)			1	1	2	4	12	20
	第12分団(宗谷岬)			1	1	3	5	15	25
	第13分団(恵 北)			1	1	1	2	6	11
第14分団(東 浦)			1	1	1	2	10	15	
小 計	1	4	15	15	30	56	175	296	
豊 富 町	団 本 部	1	2						3
	第1分団(市 街)			1	1	4	7	45	58
	第2分団(兜 沼)			1	1	2	3	12	19
	小 計	1	2	2	2	6	10	57	80
猿 払 村	団 本 部 女 子 団	1	2						3
						1	2	5	8
	第1分団(鬼志別)			1	1	1	4	8	15
	第2分団(知来別)			1	1	1	4	11	18
	第3分団(浜鬼志別)			1	1	1	4	11	18
	第4分団(浜猿払)			1	1	1	4	11	18
	第5分団(浅茅野)			1	1	1	4	8	15
	第6分団(小 石)			1				3	4
	第7分団(芦 野)			1	1	1	4	6	13
第8分団(猿 払)			1	1	1	4	3	10	
小 計	1	2	8	7	8	30	66	122	
合 計	3	8	25	24	44	96	298	498	

消防学校入校状況

区 分	科 課 程 名	17年	18年	19年	20年	21年	
救 急 救 命 士		1			1	2	
消 防 職 員 教 育	初 任 教 育		1	2	1	2	
	専 科 教 育	警 防 科					
		無 線 通 信 課 程					
		予 防 査 察 科					1
		危 険 物 科					
		火 災 調 査 科					
		救 急 科	3	3	2	2	4
	幹 部 教 育	救 助 科	1				
		新 任 消 防 長 研 修				1	
	特 別 教 育	幹 部 科			1		
		ポンプ操法指導員課程				1	
		はしご自動車運用課程	1				
		気管挿管講習		1	2	1	
		薬 剤 投 与 講 習				1	2
計		6	5	4	4	11	
団員教育	基 礎 教 育	2	1	1			
	幹 部 教 育	1	1	1	1	1	
	訓 練 礼 式 指 導 員 課 程	1					
計		4	2	2	1	1	



消防職員各種免許修得状況

区分	階級							
	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
自動車普通免許証	1		2	2	2	3	9	19
自動車普通免許証2種								
自動車大型免許証		1	5	20	37	9	4	76
自動車大型免許証2種			1	1		1		3
自動車大型特殊免許証		1	6	13	17	2	4	43
特殊無線技士 1級・2級			4	6	5	3	1	19
アマチュア無線				2	1			4
消防設備士				1	2	1		4
消防設備点検資格者				1	1		7	2
危険物取扱者 甲乙丙種			2	9	13	4	1	35
ボイラー2級免状取扱修了者			1	1				3
衛生管理者					1		1	1
ガス溶接士			3	5	3	2		14
高圧ガス販売主任者				1				1
2級ガソリン整備士								
3級ガソリン整備士				1				1
3級ディーゼル整備士								
玉掛技能取扱者		1	5	15	25	5		51
移動クレーン取扱者		1	6	15	25	5		52
2級小型船舶操縦者			1	6	16	2		25
車両建設機械修了者			3	12	16	2	2	35
銃砲取扱者				4	20	7	2	33
潜水士				4	14	2		20
第1種酸素欠乏主任者				5	1	1		7
第2種酸素欠乏主任者				4				4
特別管理産業廃棄物管理責任者			1	1	1			3
計	1	4	40	129	200	49	32	455

区 分	所 在 地	構 造	面 積	竣 工 年 月
消防本部 消防署 消防団本部	港5丁目1-37	鉄骨鉄筋コンクリート 地下1階地上 2階建	延 2,980.90 m <sup>2</sup>	平成 10 年 11 月
山頂局舎	ヤムワッカナイ	鉄筋コンクリート	延 7.29 m <sup>2</sup>	平成 2 年 3 月
第1分団	中央4丁目2-4	鉄筋ブロック 3階建	延 336.16 m <sup>2</sup>	昭和 41 年 6 月
第2分団	宝来1丁目5-28	木造モルタル 2階建	延 189.13 m <sup>2</sup>	昭和 53 年 12 月
第3分団	朝日1丁目	木造サイディング平家建	延 146.10 m <sup>2</sup>	平成 6 年 11 月
第4分団	声間	木造モルタル平家建	延 72.90 m <sup>2</sup>	昭和 49 年 3 月
第5分団	沼川3条南1丁目	木造モルタル平家建 木造モルタル平家建	延 168.48 m <sup>2</sup>	昭和 47 年 11 月 埠 昭和 53 年 5 月
第6分団	抜海	木造モルタル平家建	延 34.02 m <sup>2</sup>	昭和 53 年 11 月
第7分団	上勇知15線	木造モルタル平家建	延 72.90 m <sup>2</sup>	昭和 57 年 7 月
第8分団	富士見5丁目	木造モルタル平家建	延 58.32 m <sup>2</sup>	昭和 50 年 11 月
第9分団	曲渕	防火サイディング平家建	延 69.66 m <sup>2</sup>	平成 4 年 8 月
第10分団	宗谷173番地	木造モルタル平家建	延 72.90 m <sup>2</sup>	昭和 54 年 6 月
	第2清浜	木造サイディング平家建	延 38.88 m <sup>2</sup>	平成 1 年 10 月
第11分団	富磯	木造サイディング2階建	延 80.19 m <sup>2</sup>	平成 6 年 12 月
第12分団	大岬74番地	木造モルタル平家建	延 72.90 m <sup>2</sup>	昭和 53 年 7 月
第13分団	恵北	木造サイディング平家建	延 97.20 m <sup>2</sup>	平成 12 年 10 月
第14分団	東浦	木造サイディング平家建	延 34.02 m <sup>2</sup>	平成 6 年 11 月

## ◎ 豊富町

## 消 防 用 庁 舎

区 分	所 在 地	構 造	面 積	竣 工 年 月
豊富支署	東1条7丁目	鉄骨コンクリート 2階建	421.1 m <sup>2</sup>	平成 18年 12月
第1分団		鉄筋ブロック一部 2階建	延 419.2 m <sup>2</sup>	昭和 48年 5月 増 昭和 60年 11月
第2分団	温 泉	ブロック造平屋建	延 80.00 m <sup>2</sup>	昭和 60年 9月
	兜 沼	木造モルタル	延 106.92 m <sup>2</sup>	昭和 51年 11月 増 昭和 62年 7月

## ◎ 猿払村

区 分	所 在 地	構 造	面 積	竣 工 年 月
猿払支署	鬼志別南町1番地	鉄骨コンクリート 2階建	延 1,417.43 m <sup>2</sup>	平成 9年 12月
第1分団				
第2分団	知来別	木造モルタル平家建	延 69.56 m <sup>2</sup>	昭和 40年 7月 増 昭和 62年 8月
第3分団	浜鬼志別	木造モルタル平家建	延 64.59 m <sup>2</sup>	昭和 49年 10月 増 昭和 63年 7月
第4分団	浜猿払	木造サイディング平家建	延 81.00 m <sup>2</sup>	平成 3年 12月
第5分団	浅茅野	木造平家建	延 65.84 m <sup>2</sup>	平成 10年 12月
第6分団	小 石	ブロック平家建	延 55.71 m <sup>2</sup>	平成 8年 2月
第7分団	芦 野	木造サイディング平家建	延 81.00 m <sup>2</sup>	平成 3年 12月
第8分団	猿 払	セラミックブロック平屋	延 40.34 m <sup>2</sup>	昭和 57年 12月

## ◎ 稚内市

## 消 防 車 両 の 現 状

区 分	名 称	車 名	年 式	車 令	排 気 量 cc	ポンプ型式	級	水 槽	無 線	備 考
消防本部	指揮車	日産	平成04-07	17-06	4,160				有	広報装置
	広報車	日産	平成08-02	13-11	1,990				有	広報装置
消防署	指令車	イズブ	平成13-07	08-06	2,980				有	広報装置
	救急車	トヨタ	平成17-09	04-03	3,370				有	2B型
	救急車	イズブ	平成08-12	13-01	4,570				有	高規格救急車
	銀 竜	イズブ	平成15-12	06-00	7,960	タービン	A2		有	可般動力積載
	北 斗	日野	平成06-02	15-11	7,410	タービン	A2		有	可般動力積載
	さくら	日産	平成05-03	16-10	13,260	タービン高圧ポンプ付	A2	水 4,000ℓ	有	広報装置
	双 竜	日野	平成03-02	18-11	13,260	タービン高圧ポンプ付	A2	水 3,000ℓ 薬剤 500ℓ	有	広報装置 化Ⅱ型
	大 竜	日野	昭和61-09	23-04	16,260			水 10,000ℓ	有	可般動力積載
	飛 竜	日野	平成12-06	09-07	13,260				有	救助工作車 電源照明クレーン付
	宝 竜	三菱	昭和59-10	25-03	14,880	タービン	A2		有	25m級3節屈折車
天 翔	日野	平成06-11	15-02	17,230				有	40m級梯子車	
資機材車	イズブ	平成10-12	11-01	4,980				有		
金 龍	イズブ	昭和63-08	21-05	6,490	タービン	A1	水 2,000ℓ	有	広報装置	

## ◎ 豊富町

区 分	名 称	車 名	年 式	車 令	排 気 量 cc	ポンプ型式	級	水 槽	無 線	備 考
豊富支署	指令車	トヨタ	平成12-05	09-08	3,000				有	広報装置
	救急車	トヨタ	平成06-10	15-03	2,890				有	2B型
	タンク	日野	昭和62-10	22-03	16,360	タービン	A2	水 3,000ℓ	有	広報装置
	水槽車	日野	昭和60-09	24-03	16,260			水 10,000ℓ	有	可般動力積載
	救工車	日野	平成10-10	11-03	7,960				有	電源照明クレーン付
	梯子車	イズブ	平成09-10	12-03	8,220	タービン	A2	水 700ℓ	有	15m級梯子車
	救急車	トヨタ	平成16-12	05-00	3,370				有	高規格救急車

## ◎ 猿払村

区 分	名 称	車 名	年 式	車 令	排 気 量 cc	ポンプ型式	級	水 槽	無 線	備 考
猿払支署	指令車	トヨタ	平成04-07	17-06	4,160				有	広報装置
	救急車	イズブ	平成10-12	11-01	4,570				有	高規格救急車
	救急車	トヨタ	平成15-10	06-03	3,400				有	2B型
	タンク	日野	平成01-11	20-02	13,260		A2	水 3,000ℓ	有	広報装置
	水槽車	日野	昭和59-09	25-04	16,260			水 10,000ℓ	有	可般動力積載

## ◎ 稚内市

## 消 防 団 車 両 の 現 状

区分	名称	車名	年式	車令	排気量cc	備考	
消 防 団	団本部	連絡車	トヨタ ハイエース	平成14-04	07-09	2,690	
	第1分団	積載車	ニッサン アトラス	平成15-10	06-03	3,150	広報装置可般動力
	第2分団	積載車	トヨタ ダイナ	平成20-12	01-01	2,980	広報装置可般動力
	第3分団	積載車	トヨタ ダイナ	平成14-07	07-06	2,980	広報装置可般動力
	第4分団	積載車	ニッサン アトラス	平成07-09	14-04	2,660	広報装置可般動力
	第5分団	積載車	ニッサン アトラス	平成05-09	16-04	2,660	広報装置可般動力
	第6分団	積載車	ニッサン アトラス	平成06-09	15-04	2,660	広報装置可般動力
	第7分団	積載車	ニッサン アトラス	平成08-10	13-03	2,660	広報装置可般動力
		積載車	ニッサン アトラス	平成03-11	18-02	2,660	広報装置可般動力
	第8分団	積載車	ニッサン アトラス	平成13-08	08-06	3,150	広報装置可般動力
	第9分団	積載車	ニッサン アトラス	平成13-08	08-05	3,150	広報装置可般動力
	第10分団	積載車	ニッサン アトラス	平成05-09	16-04	2,660	広報装置可般動力
		積載車	ニッサン アトラス	昭和60-09	24-04	3,290	広報装置可般動力
	第11分団	積載車	ニッサン アトラス	平成06-09	15-04	2,660	広報装置可般動力
第12分団	積載車	ニッサン アトラス	平成07-09	14-04	2,660	広報装置可般動力	
第13分団	積載車	ニッサン アトラス	平成08-09	13-04	2,660	広報装置可般動力	
第14分団	積載車	ニッサン アトラス	平成04-12	17-01	2,660	広報装置可般動力	

## ◎ 豊富町

区分	名称	車名	年式	車令	排気量cc	ポンプ型式	級	無線	備考	
消 防 団	第1分団	山竜号	トヨタ	平成05-05	16-08	2,770			有	広報装置
		カバツ2号	日野	平成16-03	05-09	4,880	タービン	A2	有	広報装置
		カバツ1号	日野	平成13-10	08-04	7,960	タービン	A2	有	広報装置
		カバツ3号	トヨタ ダイナ	平成04-08	17-05	3,660	トーハツ	B2	有	広報装置可般動力
		ポンプ車	トヨタ ダイナ	昭和63-08	21-05	3,430	タービン	A2	有	広報装置可般動力積載
	第2分団	積載車	ニッサンアトラス	平成02-11	19-02	2,660	ラビット	B2	有	広報装置可般動力

## ◎ 猿払村

区分	名称	車名	年式	車令	排気量cc	ポンプ型式	級	無線	備考	
消 防 団	第1分団	ポンプ車	日野ジープ	平成06-03	15-10	7,410	タービン	A2	有	
	第2分団	積載車	三菱キャンタ	平成03-11	18-02	4,210	ラビット	B3	有	可般動動力
	第3分団	積載車	三菱キャンタ	平成03-11	18-02	4,210	ラビット	B3	有	可般動動力
	第4分団	積載車	三菱キャンタ	平成03-12	18-01	4,210	ラビット	B3	有	可般動動力
	第5分団	積載車	三菱キャンタ	平成03-12	18-01	4,210	ラビット	B3	有	可般動動力
	第6分団	資機材車	三菱キャンタ	平成07-10	14-03	4,210	シパウラ	B3	有	可般動動力
	第7分団	積載車	三菱キャンタ	平成03-12	18-01	4,210	ラビット	B3	有	可般動動力
	第8分団	積載車	三菱キャンタ	平成02-10	19-04	4,210	ラビット	B3	有	可般動動力

区 分	名 称	馬力	級	数	年式	令	水 管	
消防署	トーハツ	52	B2	1	平成09-04	11-09	50mm66・65mm 397 計463本 高圧7・水膜6 計13本	
	トーハツ	20	B3	1	平成06-02	14-12		
	トーハツ	20	B3	1	平成15-12	05-01		
消 防 団	第1分団	トーハツ	62	B2	1	平成15-11	05-02	50mm 36 計38本
		シバウラ	46	B2	1	平成11-07	09-06	65mm 2
	第2分団	トーハツ	46	B3	1	平成20-11	01-02	65mm 4
		トーハツ	33	B3	1	平成01-07	17-06	50mm 32 計36本
	第3分団	トーハツ	40	B3	1	平成14-07	06-06	50mm 31
		トーハツ	33	B3	1	昭和57-09	26-04	65mm 4 計35本
	第4分団	トーハツ	38	B3	1	平成07-10	13-03	65mm 28 計28本
		トーハツ	33	B3	1	平成03-11	18-02	
	第5分団	トーハツ	30	B3	1	昭和55-07	28-06	50mm 21
		トーハツ	38	B3	1	平成05-09	15-04	65mm 48 計69本
	第6分団	トーハツ	30	B3	1	平成06-10	14-03	50mm 24
		トーハツ	40	B3	1	平成17-09	03-04	65mm 21 計47本
	第7分団	トーハツ	38	B3	1	平成08-10	12-03	50mm 42 計42本
		トーハツ	33	B3	1	昭和61-09	22-04	
トーハツ		33	B3	1	昭和57-07	26-06		
第8分団	トーハツ	40	B3	1	平成13-09	07-04	65mm 28 計28本	
第9分団	トーハツ	33	B3	1	平成02-07	18-06	65mm 42 計42本	
	トーハツ	40	B3	1	平成13-09	07-04		
第10分団	トーハツ	38	B3	1	平成05-09	15-04	50mm 10	
	トーハツ	33	B3	1	昭和58-09	25-04	65mm 26 計36本	
第11分団	トーハツ	30	B3	1	平成06-10	14-03	50mm 30 計47本	
	トーハツ	30	B3	1	昭和56-07	27-06	65mm 17	
第12分団	トーハツ	38	B3	1	平成07-10	13-03	65mm 30 計30本	
	トーハツ	38	B3	1	昭和57-07	26-06		
第13分団	トーハツ	38	B3	1	平成08-10	12-03	50mm 8	
							65mm 31 計39本	
第14分団	トーハツ	38	B3	1	昭和63-09	20-04	65mm 24 計24本	
	トーハツ	38	B3	1	平成04-12	16-01		

区 分		名 称	馬力	級	数	年式	令	水 管	
支 署		シバウラ	56	B2	1	平成 13-05	08-09	65mm	222
		トーハツ	49	B2	1	平成 04-08	17-05		
消 防 団	第 1 分団	ラビット	60	B2	1	平成 02-11	19-02	50mm	40
		トーハツ	49	B2	1	平成 04-08	17-05	40mm	16
		トーハツ	63	B2	1	平成 13-10	08-03		計 278 本
団	第 2 分団	ラビット	52	B2	1	昭和 61-07	24-06	65mm	43
		ラビット	52	B2	1	平成 02-10	19-03		

区 分		名 称	馬力	級	数	年式	令	水 管	
支 署		トーハツ	60	B2	1	平成 15-06	05-06	65mm	70
		シバウラ	45	B3	1	平成 14-05	06-09	50mm	11
消 防 団	第 1 分団							65mm	53
	第 2 分団	ラビット	32	B3	1	平成 03-11	17-03	65mm	24
	第 3 分団	ラビット	32	B3	1	平成 03-11	17-03	65mm	23
	第 4 分団	ラビット	32	B3	1	平成 03-12	17-01	65mm	26
	第 5 分団	ラビット	32	B3	1	平成 03-12	17-01	65mm	23
	第 6 分団	シバウラ	40	B3	1	平成 07-10	13-03	65mm	25
	第 7 分団	ラビット	32	B3	1	平成 03-12	17-01	65mm	29
	第 8 分団	ラビット	32	B3	1	平成 02-10	18-04	65mm	28